



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより第46号
令和5年1月27日
部活動の成果として

「体験(自分が身をもって取り組んだこと)」から「経験(体験してきた時間の積み重ねと、自分の中で気づきや発見や感情が自分の中に入りこんでくること)」へ。そして「学び」へ。その学びを得て、自分の力に、チームの力に。その着実に継続してきた学びの力は、「粘り強くやり抜く(やり切る)力」として、しっかり発揮される。

【校長として、次のよう考えます・・・】

点数がよい。大会結果がよい。この2つのことが良いにこしたことはありません。しかし、生徒のみなさんが何かを達成したときや、結果を残したときは、この達成や結果を残した過程(そこに至るまでの努力や頑張りを)を認め、ほめてあげたい。「粘り強くやり抜く(やり切る)力」に着目して、しっかりと評価をし、その頑張りをしっかりと受け止めて全力でほめてあげたいと思います。持続力(やり抜く力)の低い子どもは、もともと生まれながらに持続力が低いとか、あきらめがちな性格を持ち合わせているとかではなく、「粘り強くやり抜いた(やり切った)経験」が少なく、積み重ねられていないだけだと思います。逆の言い方をすると、子どもが「粘り強くやり抜いた(やり切った)経験」を積み重ねることができたら、自分は「やればできる!」「最後まで頑張れた!」ということを感じ、経験し、「持続力(やり抜く力・やり切る力)」を獲得し、絶対に向上(成長)できる。これができるのが、今の中学生の時期だと思っています。

【「粘り強くやり抜く(やり切る)力」を発揮した成果】

- ・ 男子バレーボール部 三重県バレーボール新人大会 「第3位」「東海大会に三重県代表として出場!」
- ・ 吹奏楽部 三重県アンサンブルコンテスト 「金管8重奏 金賞」「混成7重奏 銀賞」
- ・ 女子バスケットボール部 三重県新人バスケットボール北勢大会 「第5位」「三重県大会に出場!」

目標に向けて粘り強くあきらめないバレーボールで東海大会出場決定!おめでとう! 3年生の頑張りと思いを引継ぎだ 男子バレーボール部の成果



川越中学校男子バレーボール部は北勢地区大会で3位となり、北勢地区を代表して三重県新人大会に出場。三重県内各地区から40チームが参加し開催されました。2回戦・3回戦と勝ち上がりベスト8に進出をしました。そして、東海大会への

出場を目指して「準々決勝」以上の試合が行われました。東海大会には三重県新人大会の上位4チームに出場権が与えられます。準々決勝は名張市立赤目中学校が相手です。試合開始早々に川越中学校のサーブレシーブが乱れ、相手のペースで試合が進みます。緊張感もなかなか勢いが出ません。しかし、ここからが今回の大会での成長をしてきた強さでもある「粘り」を発揮してくれました。夏の大会頃は、試合展開が悪く、サーブレシーブが乱れ始めるとなかなか我慢することができず、ずるずると相手のペースのまま試合がすすむようなこともありました。しかし、今回の大会では「粘り強さ」「あきらめない気持ち」がすぐく表に現れたプレーがいっぱい出ていました。ミスが出て「チームで声を掛け合う雰囲気」がコートの中からも、ベンチからもいっぱい出ます。流れが悪い展開でも、粘り強いレシーブをはじめとする守備から川越中学校の強みでもある「高さを活かしたパワーのある攻撃力」を徐々に発揮していきます。3年生の先輩とともに頑張った夏。夏の県大会出場が目の前の試合で敗退した悔しさを、3年生とともに経験した2年生と、勢いのある1年生がミックスされ、セットカウント2-0で勝利。ベスト4進出が決定し、見事、「東海大会出場決定!」です。

とにかく、粘り強く、あきらめずに戦い切った選手たち。知りうる限りでは、川越中学校男子バレーボール部が「東海大会出場」というのは初めての快挙だと思います。小学校からのバレーボール経験者が一人もいないチームがこのような東海大会出場を勝ち得るのは、なかなかできるものではありません。9月に行われた東海吹奏楽コンクールに三重県代表として出場し、川越中学校吹奏楽部が見事「金賞」を受賞したことと同じく、「日々のコツコツとした地道な練習の積み重ね」、そして、「目標を持ち、粘り強くあきらめない気持ち」が大切だということ。そして、顧問の先生と生徒との信頼関係がこの2つの部活動に共通していることだと思います。



す。吹奏楽部も、小学校での吹奏楽経験の生徒は一人もいません。あらためて、吹奏楽部・男子バレーボール部の部員である子どもたちと、顧問の先生に拍手です。この結果は、川越中学校の部活動の生徒だけではなく、全校生徒にも、そして教職員にも嬉しいニュースであり、誇れるニュースです。東海大会は、3月18日(土)・19日(日) 静岡県袋井市にて開催されます。

【初心者チームの成長と結果】 男子バレーボール部 主将 2年2組 齋藤 蒼空(さいとう そら) さん

夏の中体連では、あと1勝で県大会という所で負けてしまい、これまで一緒に頑張ってきた3年生の先輩とやってきたバレーボールが終わってしまったんだと思い、県大会を逃した悔しさよりも先輩ともう一緒にできないという悔しさの方が自分の中では大きかったと思います。この悔しさを新チームのみんなで心に残して、夏から頑張って練習をしてきました。今回の県大会では、「東海大会出場」という目標を持ち、県大会に挑みました。自分たちはレセプション(サーブレシーブ)やアタックを受けるレシーブを強化してきました。その強化した部分のおかげで、つなぎの部分が出て2回戦を突破しました。3回戦ではレセプションなどのミスが出てしまい、6-15でまで離されたこともありましたが、そんな中でも仲間と話し合い、自分たちの力を発揮して3セット目までいきました粘り強く戦って見事勝利しベスト8進出です。2日目の準々決勝は東海大会出場がかかった

試合。この試合に対しての思いはすごく強くありました。ミスを重ねてもチームみんなで励まし合い、見事勝利してベスト4の準決勝進出が決まり、東海大会への出場を決めました。自分たちは中学校からバレーボールをはじめた人しかいない、いわゆる初心者チームでした。こんなチームでも東海大会に出るって言うのは、自分が言うのもなんですが、すごい事だと思います。「三重県代表の川越中学校」として東海大会に出ます。東海大会でも勝ち抜いて行こうとしているので応援をよろしく願います。ぼくたちは、伊藤先生に、ゼロの状態から育てていただき、東海大会という場所に連れて行ってもらいました。基本を大事にする練習を教えてくださいました。次の東海大会でもチームのみんなと伊藤先生と一緒に、勝ち続けていけたら良いなと思います。

吹奏楽部金管8重奏「金賞」！ 混成7重奏「銀賞」！おめでとう！

「第55回 三重県アンサンブルコンテスト」が開催されました。北地区大会の代表としての県大会。



**2つの重奏は精一杯の力を発揮してくれました！
3年生が大切にしてきた「日々の地道な練習の
繰り返し」で、着実に後輩も成長しています！**

1月15日（日）川越中学校吹奏楽部は、三重県文化会館大ホールにて「第55回 三重県アンサンブルコンテスト兼東海・全日本アンサンブルコンテスト県予選」に北地区代表として出場しました。12月27日（火）に同会場にて開催された北地区大会において「金賞 北地区代表」として選出された2団体

が出場しました。1年生での「混成7重奏」と、2年生の「金管8重奏」の出場です。各地区から地区代表として選出された中学校の打楽器重奏、木管重奏、金管重奏、混成重奏など41のアンサンブルが出場をし、東海・全日本アンサンブルコンテストへの出場を目指して素敵な演奏を奏でてくれました。県大会に代表として出場する学校だけあってどこも非常にレベルの高いアンサンブルコンテストでした。川越中学校も、日々の地道な練習の積み重ねで培ってきた成果は、12月よりも数段にレベルアップしたことがよくわかりました。限られた演奏時間の中で、重奏という1つ1つの楽器の音を重ね、一人ひとりの心をあわせて1つの曲として演奏する姿には毎回感動をもらっています。川越中学校の結果は、1年生の「混成7重奏」は三重県で「銀賞」を受賞。そして、2年生の「金管8重奏」は見事に三重県で「金賞」を受賞しました。本当におめでとうございます。しかし、次の東海大会へ三重県代表としての出場は叶いませんでした。しかし、1年生にとっても、2年生にとっても北地区代表として今回のアンサンブルコンテストに出場した事実が大切であり、この出場と、三重県総合文化センター大ホールにて堂々と素晴らしい演奏を奏でてくれたことは、必ずこれからの自信としても、個人の成長にもしっかりとつながっていくことと思います。これからも、顧問の石川先生、間野先生と、吹奏楽部員が一緒になって心のこもったすてきな演奏をいっぱい聴かせてください。そして、最後まで粘り強く川越中学校の吹奏楽をやり切った3年生の先輩たちが大切にしてきた、1日1日の練習をしっかりと積み上げていってほしいと思います。次は、2月5日（日）に開催される「個人アンサンブルコンテスト」です。ファイト！川越中学校吹奏楽部！

女子バスケットボール部 三重県中学生新人バスケットボール大会へ出場決定！ おめでとう！

接戦ばかりの決勝トーナメントの北勢地区予選大会。顧問の先生とチームが一丸となって。3年生から引き継いだ「粘り強くあきらめない、気持ちの強いバスケット」を表現！



1月14日（土）・1月15日（日）の両日、三重県中学生新人バスケットボール大会北勢地区予選大会のベスト8以上の試合が行われました。川越中学校女子バスケットボール部は、12月からのグループ予選から勝ち上がり

合計5日間の試合日程が続きます。12月の女子バスケットボール部のグループ予選1日目は体調不良の生徒が多いため棄権。そんな厳しい大会のスタートとなりました。三重県新人大会には北勢地区から勝ち上がった上位5チームが出場権を得ます。その5つの出場権を目指して40ほどのチームが戦います。厳しいスタートとなっても、チームみんなで頑張って乗り越えてきました。12月のブロック予選を何とか1位通過をし、1月9日（月 祝日）の決勝トーナメントに進出し、1回戦を45-39で勝ち上がったの準々決勝は長島中学校戦。結果は39-83で惜敗。敗戦の中でも5チームまでが三重県大会に出場できるため、あと2勝したら5位通過で県大会出場が決定します。チーム一丸となって頑張りました。桑名市立光陵中学校との1戦。結果は57-52で勝ち上がりました！そして、第5位決定戦が行われました。対戦相手は、桑名市立陽和中学校です。第1Qから陽和中学校ペースで試合が進みます。川越中学校も粘り強く相手に食らいついていきますが、第2Q（前半）終了時点で13-26のダブルスコアで離されています。顧問の清野先生からは「あきらめないこと！」「最後まで粘り強く戦おう！」という言葉がけと、2階応援席からの保護者の皆さまの熱心で一生懸命な応援を受け、子どもたちは最後まで粘り強く戦いました。結果は45-44の1点差で川越中学校が勝利し、見事に三重県新人バスケットボール大会に出場を決めました！1月28日（土）・29日（日）に伊勢市「県営サンアリーナ」にて開催される『三重県中学生新人バスケットボール大会』への出場が決定！県大会出場という素晴らしい結果はもちろん大切であり、大事ではありますが、子どもたちは、1戦1戦苦しくて、しんどい試合を最後までチームの仲間と一緒に粘り強く、あきらめない気持ちを持ち続けて戦ってきたことが「大きな自信」となり、「心の成長」にも間違いなくつながっていくことと思います。そして、3年生の先輩が作ってきた「粘り強くあきらめない、気持ちの強いバスケット」をしっかり引き継いでいます。